

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市中部リハビリテーションセンター 中部日中活動センター	評価対象年度	令和4年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3丁目13番1号	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	平成3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	就労移行：3名(定員10名) 就労継続B：18名(定員20名) 生活介護：23名(定員20名) 生活訓練：6名(定員35名)																																		
収支実績	<p>【R4】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">収入</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">支出</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">収支差額</td> </tr> <tr> <td>経常活動 79,401千円</td> <td>経常活動 93,308千円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">-17,189千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 73,765千円</td> <td>人件費 69,319千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 0千円</td> <td>事務費 13,237千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料 0千円</td> <td>事業費 7,482千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 5,636千円</td> <td>事務局経費 3,270千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他 3,282千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計 79,401千円</td> <td style="border-top: 1px solid black;">合計 96,590千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>			収入	支出		収支差額	経常活動 79,401千円	経常活動 93,308千円		-17,189千円	給付費 73,765千円	人件費 69,319千円			川崎市単独扶助 0千円	事務費 13,237千円			指定管理委託料 0千円	事業費 7,482千円			その他 5,636千円	事務局経費 3,270千円				その他 3,282千円			合計 79,401千円	合計 96,590千円		
収入	支出		収支差額																																
経常活動 79,401千円	経常活動 93,308千円		-17,189千円																																
給付費 73,765千円	人件費 69,319千円																																		
川崎市単独扶助 0千円	事務費 13,237千円																																		
指定管理委託料 0千円	事業費 7,482千円																																		
その他 5,636千円	事務局経費 3,270千円																																		
	その他 3,282千円																																		
合計 79,401千円	合計 96,590千円																																		
サービス向上の取組	<p>・中部リハビリテーションセンター内の全事業所で取り組んでいる連携強化プロジェクトにおいて、事例を通し汎化可能な連携の在り方及び地域リハビリテーションセンターが支援すべき対象者像等をリハビリ科医、精神科医の助言を仰ぎながら検討する機会を設ける等、連携強化を図った。</p>																																		

3. 評価 (評価段階: 5～1,標準: 3,加点割合: 5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	3	6
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・基本理念である「地域性」「総合性」「専門性」「連続性」のもと、川崎市中部地域のリハビリテーション拠点として、何らかの生活上困難を抱える方々や関係機関に対する支援を展開した。</p> <p>・中部在宅支援室との連携を強化するため協同プロジェクト会議を開催し、連携の仕組みや利用者の情報共有、研修の企画等を実施した。併せて、合同の権利擁護・事故防止・苦情解決委員会を行い、利用者に対するサービスの質の向上に努める等、一体的な施設運営を行った。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>・支出については、事務費、事業費に関して節減に取り組んだことで予算額を下回り、利用者に対するサービスを落とすことなく、着実に実施した。会計手続については、法人内にて規定された経理規程及び経理規程施行細則に則り適正に実施した。</p>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々のミーティング、事業別会議、職員会議等で利用者の特記の確認、サービスについての検証、常に課題の整理を行い、定期的にモニタリング会議及び支援計画策定会議等を行うことで支援の向上に取り組んでいる。 面談や意見箱、利用者満足度アンケート、家族向け意見交換会を通して意見、要望の収集に努め、改善できるところから対応するよう心掛けて取り組みを行った。 リハビリテーションセンター内に設置されている事業所としての利点を生かし、4事業の運営並びに3障害の受け入れの中、利用者個々の障害特性や利用目的に応じた個別支援計画のもと、他事業のプログラムに参加する機会を柔軟に提供し適切なサービスの提供に努めたことで、利用者のモチベーションの向上につなげた。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働法規遵守を重視し、36協定や法人就業規定等により職員の労働条件を明確に示し、センター長が全職員と年2回面接を行い、職員の意向並びに個人事情を把握し、配慮するよう努めている。 利用者の権利擁護への取組み及び感染症対策について内部研修での研鑽に加え、ミーティングや職員会議において利用者への適切な対応が行えるよう関連する情報の周知、意見交換等を実施し、職員の意識の向上を図った。また、協同プロジェクトの一環として在宅支援室の理学療法士、作業療法士の役割等を聞く機会を設け、地域リハビリテーションセンター内の職員としての専門知識の獲得につなげた。また外部研修においては、権利擁護関連の他にも強度行動障害支援者養成や就労支援関連等各事業の目的に応じた研修会への派遣を行い、質の高いサービスの提供につなげた。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地域支援室によって保守点検、整備等が行われており、雨漏り等不具合があった際は速やかに連絡するなど適切な管理が行われている。 各文書は法人の文書処理規定等に基づき適正な処置を行い、指定場所にて保管し、個人記録等は施錠できる場所に適切に保管している。 清掃業務は委託により、快適に利用できる環境の維持に努めた。警備については機械警備セキュリティシステムにより、夜間及び休日も含め適切に実施されており、事件・事故・犯罪等の未然防止に取り組んでいる。 備品管理は、年1回、固定資産管理台帳、備品台帳をチェックし、常に倉庫内の整理整頓、在庫数の管理を行うことで、適切に日常消耗品の補充を行った。アルコール消毒液、使い捨てグローブ等衛生関係の消耗品に関しても適切に在庫管理を行い、感染症対策を継続して行うことができた。 					

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他 加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
	(評価の理由)				

5. 総合評価

評価点合計	62	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・中部リハビリテーションセンター内の全事業所で取り組んでいる連携強化プロジェクトでは事例を出し合い、他事業所との意見交換やリハビリ科医及び精神科医の助言を得たことで支援方法の幅を広げ、利用者に対する適切な支援の提供に繋げた。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・中部リハビリテーションセンター内での連携を引き続き強化し、サービスの質の向上に努めること。